（2024.3.2）
訂正版

K's え・こ
3月の学習の手引き

３月20日は春分の日、この日を中日として前後の三日間、あわせて七日間をお彼岸といいます。むかしから日本では、お彼岸にお寺やお墓にまいって先祖を供養するという習慣がありました。お彼岸は春と秋の二回ありますが、「暑さ寒さも彼岸まで」ということばがあるように、お彼岸をさかいにして、春の場合だと気候があたたかくなり、草木の萌えでる季節へとうつりかわっていきます。みなさんの１年間の学習も3月16日で終了です。3月25・27日(神栖校)、28・29日(本部校)で、新学年のための体験学習(別紙案内をご覧下さい)がありますので、全員これに参加して下さい。４月からいよいよ新学年の授業が始まります。

日	月	火	水	木	金	土
2/18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	3/1	2 ⑲
3	4	5	6	7	8	9 ⑳
10	11	12	13	14	15	16 ㉑
17	18	19	20	21	22	23
24	25 神栖校 無料体験	26	27 神栖校 無料体験	28 本部校	29 無料体験	30

新小１無料体験学習	神栖校3/25・27	本部校3/28・29
	13:00～14:25／国語・算数・英語	

新小１の授業は
4月13日(土)
開講です。

担　任	
本部校	神栖校
阿　部	村　杉

■ が授業のある日です。　（国算）13:30～14:25

・欠席や遅刻をする場合は、必ず担任宛、お電話でその旨ご連絡ください。

・持参するもの……上ばき、筆記用具

教材はすべて書きこみ式になっていますので、ノートは必要ありません。

ノーリツ学園

国語の授業のすすめ方

国語の学習ではひらがな、カタカナ４６文字を正しい筆順で、バランスよく書いていけるようにします。次のような順番で毎回、同じようにすすめていきます。

①先生の声にあわせて「いろはのイソップ」を復唱する。

②その週に学ぶ２文字のひらがな・カタカナの正しい筆順と書き方を学ぶ。

③「ことばじてん絵本」の中から、その週に学んだ文字を使った言葉をみつけて書いてみる。

④宿題シートを毎回配付しますので、絵にあわせて「ことばじてん絵本」から同じ絵を見つけて、そのことばを書いていく。さいしょは、おとうさんやおかあさんにてつだっていただいて、すこしずつ自分の力でしあげられるようにしていきましょう。しあげたシートはつぎの国語の授業のときに先生に提出してください。添削して、後日おかえしします。また「ことばじてん絵本」はおうちでなんどもくりかえしみるようにしましょう。たいせつなことばをしっかり身につけていくようにしましょう。

⑲ **3月2日(土)**	**ら・り（ラ・リ）** ・らは良という漢字から、ラも良という漢字の一部からできました。 らやラのつくことばには、らっぱやライオン があります。 ・りは利という漢字から、リも利という漢字の一部からできました。 りやリのつくことばには、りすやリボンがあります。
⑳ **3月9日(土)**	**る・れ（ル・レ）** ・るは留という漢字から、ルは流という漢字の一部からできました。 るやルのつくことばには、るすやルールがあります。 ・れは礼という漢字から、レも礼という漢字の一部からできました。 れやレのつくことばには、れんがやレモンがあります。
㉑ **3月16日(土)**	**ろ・わ・ん（ロ・ワ・ン）** ・ろは呂という漢字から、ロも呂という漢字の一部からできました。 ろやロのつくことばには、ろばやロケットがあります。 ・わは和という漢字から、ワも和という漢字の一部からできました。 わやワのつくことばには、わにやワイシャツがあります。

※「を」と「ヲ」のれんしゅうも、じぶんでしておいてください。

算数の授業のすすめ方

昨年９月からスタートした「Ｋ's え・こ」も残り１か月となりました。今月は「くり上がりのないたし算」と「くり下がりのないひき算」を学習します。指を使ってもかまいませんから、正確に解くこと、文章題はご家庭で一緒に読みながら、何を求めなければならないのかを考えさせながら進めて下さい。

⑲ **3月2日(土)**	**たし算　②** この単元では、合併のたし算を学びます。 合併のたし算のキーワードである「合わせて」「全部で」「みんなで」「もらうと」「くると」「ふえると」に注目し、これらを求める計算をたし算とよぶことを学習します。また、たし算は数と記号「＋」「＝」を使って表し、これを「式」とよぶことを学びます。
⑳ **3月9日(土)**	**ひき算　①** はじめてひき算の学習をします。 残りを求めるひき算で、あるものからいくつか取ることがひき算で表されるといった認識をもちます。また、全体から部分を求めるひき算を学習します。目標は、ひき算の場面を知り、それが理解できるようになることです。
㉑ **3月16日(土)**	**ひき算　②** ひき算の２回目は、２つの数量の違いを考えるときに使うひき算を学習します。絵を見て数量を比べ、その違いを考えられるように、ひき算の式をつくります。

※残ったシートは宿題となります。
授業内容の復習も兼ねて、お家で解いてくるようにしてください。